



学校だより

いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標 「伸びを認め合う」

小山町立須走小学校

令和元年11月号

優しく強く、笑顔いっぱい

川野将虎選手に学ぶ

校長 青木 元広

とうとう須走からオリンピックの選手が誕生しました。ご存知のとおり、本校出身の川野将虎選手です。最近、自然災害などつらいことが多かった中、飛び込んできた素晴らしいニュースでした。

その発表以来、マスコミなどから多くの電話や取材依頼がありました。「小学校時代はどんな少年でしたか？」という内容がほとんどです。

たまたま、前回私が須走小に勤務していた頃の五・六年生でしたが、正直言って運動で飛びぬけた成績を残すような少年ではありませんでした。そんな将虎さんが、どうしてこんなにも偉大な選手になったのでしょうか。それを知りたくて、当時の担任や関わりの方の先生に尋ねてみました。

すると異口同音に言っていることは、「とにかくいつも笑顔で、人の悪口を言うようなことのない、優しい少年だった」ということです。

また、「一つのことに興味を持つと、夢中で頑張る子だった」ということでした。

卒業文集を紐解いてみても、好きな勉強は、体育ではなく「算数や歴史」、好きな食べ物は「肉じゃが」など、本当に普通の少年だったようです。好きなスポーツは「バドミントン」と書いてありましたが、競歩やマラソン、ましてオリンピックなどの言葉は全く見当たりませんでした。ただ、バドミントンは体育館の夜間開放で大人に混じって、黙々と練習していたそうです。その後、中学校では駅伝で頭角を現し始め、日々練習に励んだそうです。

「このような話から、将虎さんは、普段はとても温厚で、誰からも慕われていたこと。そして、一度やってみようと決めたことは、とことん頑張り抜く心の強さを持っていたことなどがわかりました。」

先日行われた須走地区の文化祭の前日と当日、二回もご本人が学校を訪問してくれ、皆さんに大歓迎されました。将虎さんは終始笑顔で、快く握手をしてくれたり、話に応じてくれたりしました。

競歩というスポーツは大変苦しいスポーツです。五〇キロもの道のりを歩きぬいた後は立ってられないほどのエネルギーを使います。しかし、将虎さんは、最後までやり抜く強い精神力があります。そして、笑顔を絶やさず謙虚で温かい人柄は、日本中の人々から応援されるだろうと思います。

将虎さんを見習い、優しく強く、そして笑顔いっぱいの須走っ子がもっとも増えるように、目の前の子どもたちを応援していきたいと思います。



写真で見る10・11月

★10月21日「1年生 御胎内校外学習」



★10月23日「ハロウィン集会」



★10月30日「2年生 楽寿園校外学習」



★11月3日「3・4年生 6年生 須走地区文化祭発表」



マラソン大会

11月9日(土)にマラソン大会がありました。前日からドキドキしていると話す人もいました。当日は寒い時間帯もありましたが、よい天気にも恵まれました。一生懸命走る子どもたちに、感動をもらいました。

保護者の皆様、応援ありがとうございました。



豚汁作り・交通安全指導・砂入れ作業等ありがとうございました

PTA 役員の皆様・おやじクラブの方々の御協力で、マラソン大会当日、おいしい豚汁を作ってくださいました。子どもたち、大喜びでした。おかわりをする人もたくさんいました。

また、PTA 役員の皆様、交通指導員さんには、マラソン大会の安全のために交通指導もしていただきました。

午後からは、保護者の皆様に砂入れ作業もしていただきました。冬の運動場を安全に使用する準備ができました。

本当にありがとうございました。